

和歌山県水平社創立90周年 を記念して猿舞座、再和！ ふれあい人権フェスタ2012

いつ平くんの魅力で大盛況

ふれあい人権フェスタ2012が11月17日、18日、ビッグホールでひらかれた。恒例になったフェスタには、のべ9600人もの来場者でにぎわった。

と題して、水平運動と融和運動が部落差別撤廃を願ったようすを紹介したパネル、1年間で発生した差別事件など展示した。また、大阪人権博物館を応援するコーナーを設け、同館の必要性を訴えた。

さらに、今年は和歌山県水平社創立90周年を祈念して、九州から筑豊大介さんをお祝いにつけ、祈念の猿まわしが披露された。成長した姿をみせたいつ平くんに、来場者も大賑わい。会場にあふれる集客に、いつ平くんも大いに期待にこたえた。



自己紹介する大介さんといっ平くん



輪くぐり



安来節を演じるいつ平くん

主張

2013年 今年はこんな年！

昨年、全国水平社創立90周年を迎え、さまざまなとりくみがおこなわれた。今年、和歌山県に水平社が結成されて、90年を迎える。多くの先達が厳しい差別からの解放を願って今日まで歩みを止めることなく闘いを続けている。5月17日、徳川幕藩体制に対する抗議の意思表示として「徳川家を祝う・和歌祭り」の日に結成大会を開催した。全水90年・和歌山県水平社90年の歴史と伝統から学び、新たな歩みをはじめなければならない。昨年末の衆議院選挙にお

いて自民党の圧勝に終わって「安倍政権」が誕生した。この政権は「人権・平和・環境」に逆行する施策を打ち出そうとしている。このような状況のなか、私たちが求める「人権侵害救済法」

区二階俊弘、比例区では公明党（浮島とも子）とすべのすいせん候補を当選させることができた。自・公政権のなかですいせん議員に対する「法制定」のとりくみを強化しなければなら

くない。また今年、5月23日に石川一雄不当逮捕から50年を数える。狭山事件のとりくみは、三者協議が11回ひらかれ、新たな証拠が開示されているが、まだまだ多

くの証拠が検察側によって隠されている。今年こそ、狭山再審開始と完全無罪を勝ち取る年にしなければならぬ。そのほか「戸籍・住民票」などの不正取得事件に一定の歯止めをかけるため、すべての市町村（30市町村）に「本人通知制度」を早急にさせなければならぬ。



海南市に要請文を渡す藤本書記長

要請行動すすめる 「本人通知制度」導入を

プライム事件に端を発し、全国で「本人通知制度」導入のとりくみがおこなわれている。県連でも、昨年12月13日から1月8日にかけて「本人通知制度」が導入されていない25市町村に対して要請行動をおこなった。

要請内容は「早急な導入」「事前登録の徹底」「市民や行政職員への教育啓発活動」「個人情報管理状況と取り扱いの点検」などを強く要請した。行政は「本人通知制度」の必要性を認識してはいるものの、行政間の統一化や事務的な整理への不安があり、導入の準備が開始されていない市町村も見受けられた。

こうした状況をふまえ、県からの導入指導や助言などをはじめ、市長会や町村長会における積極的な議論をすすめるなかで「本人通知制度」の早急な導入をめざしていく。

狭山事件を 考えよう



狭山事件と聞いて解放運動にかかわっている人は知っていても、事件そのものを知っている人はどれほどいるでしょうか。実は私も事件を知らないひとりでした。

高知県で開催された第48回全国女性集会（03年）で、初めて石川一雄さんからの訴えを聞きました。無実の人が罪を負わされているという現実に恐怖を感じ、あつてはならないことだと思いました。

女性部で狭山事件について原点から学習をしました。また、08年には人権フェスタで多くの市民に狭山事件を知ってもらおうとパネル展示をしました。女性部と識字生が狭山について思うことを綴った感想も同時に展示しました。部落差別を利用してえん罪事件ということや、脅迫状と石川さんの筆跡の違いについて

女性の立場から狭山事件を訴えました。

10年には、現地調査にきました。事件発生から47年経過しているのに、駅前も町並みも変わっていませんが、石川さんが自白したとされる道のりを実際に歩くと大きく時間の誤差があることが分かります。

狭山事件を知る前までは、裁判は公正なものと思いきい疑いもしませんでした。でも、この事件を知った今、過去にも同じようなことがどれだけおこなわれたのかを考えるととても辛く、悲しい気持ちになります。過去の間違いを認め、今度のような悲劇が二度と繰り返さないために少しでも多くの人にこの事件を知ってもらえるように活動を続けるとともに、司法改革を求めていかなければならないと思っています。

（山本佳世）

文化の窓

「みんな生きるために 生まれてくる」

生きづらさを抱えた当事者が綴った詩集。
「こころの病」「発達障害」「セクシャルマイノリティ」「性犯罪被害」「アダルトチルドレン」「ひきこもり」「自殺」「依存症」「ひきこもり」「依存症」「筋ジストロフィー」「がん」「HIV」「ベッチロス」「動物・植物との共生」いろいろな人たちの、こんなふう



に生きていくが寄り添う一冊。
定価5,700円+税 売り上げの一部は、チャリティーとして寄付されます。
■お問い合わせは県連・教宣部まで
073-473-2301